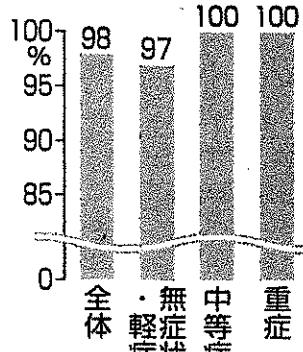


12/3 月曜

# 感染半年後も体内に抗体

横浜市立大の研究チームは二日、新型コロナウイルスに感染した人のほとんどが半年たつても、ウイルスの再感染を防ぐ抗体を持ち続けるの大規模調査の結果を発表した。各国で開発が続く新型コロナワクチンはこの抗体を体内に作り出させるもので、実

## 新型コロナ 回復者98%



※横浜市立大学の研究チームによる

用化されたワクチンを接種することで効果が長持ちする可能性もある。チームは感染一年後の抗体の残り具合も調べる。=新型コロナ関連②⑤⑨

①⑩⑯⑬面

感染から半年が経過した回復者を対象に協力を呼び掛けたところ約六百二十人が応募した。今回は、このうち十月二十六日までに血液を採って測定を終えた三百七十六人を解析。内訳は無症状または軽症の二百八十人、中等症の七十一人、重症の二十五人。その結果、ウイルスの増殖

を妨げて再感染を防ぐ「中和抗体」を98%の人が持っていた。症状別では無症状・軽症は97%、中等症と重症はいずれも100%だった。また、中和抗体の働きを示す「活性」をみると重症の人ほど強く、ウイルスの増殖を阻止する力も高くなる傾向があった。

研究チームの後藤温教授（疫学）は「海外では、感染から数カ月で抗体が消失するなどとした報告も一部でみられたが、多くの研究は（数カ月の間は）九割近くの人に対し抗体が残るとの結果を示している」と指摘。今回の調査結果は海外のものとほぼ一致しており、信頼性は高いとした。

## ワクチン効果に期待

横浜市立大調査チーム